

「新しい東北」の取組状況及び平成 28 年度以降の課題について

平成 27 年 11 月 11 日
復 興 庁

1. 平成 27 年度の主な取組

(1) 先導モデル事業（平成 25 年度～平成 27 年度）

- 今年度は、55 件の事業を支援対象に選定。平成 25 年度からの 3 年間では、合計 216 件の事業を支援。
- 今年度の各事業の現時点での進捗状況は、別添の中間報告のとおり。

(2) 「新しい東北」官民連携推進協議会

① 交流会等の実施

- 関係者間の情報共有の場として、被災地で交流会を実施。
 - ・ 7 月 26 日 遠野市 テーマ：コミュニティの形成
 - ・ 11 月 7 日 いわき市 テーマ：産業・生業の再生、観光振興
 - ・ 2 月 11 日（予定） 仙台市
- さらに、
 - ・ 会員のみならず、一般の方々との交流も念頭に、仙台市（10 月 12 日）
 - ・ 風化・風評被害対策も念頭に、被災地外においても、神戸市（5 月 30 日）、東京都（7 月 4 日）で、関係者間の交流を実施。

② ウェブサイトでの情報発信の充実

- ウェブサイトの改修により、会員による支援情報の充実化など、情報発信機能を強化。

(3) 地域づくりネットワーク（被災自治体間の情報交換の場）

① 交流会の実施

- 地域の課題解決に向けた取組、成功事例等を被災自治体間で共有。
 - ・ 7 月 8 日、9 日 仙台市
 - ・ 10 月 13 日 仙台市
 - ・ 2 月 12 日（予定） 仙台市
- 「先導モデル事業」の実施主体と自治体担当者との個別の情報交換の場も設定。

②自治体版ハンズオン支援事業

○ 地域課題の解決に取り組む被災自治体に対し、「先導モデル事業」での好事例も参考にしながら、ノウハウ・アイデア面でのきめ細かな支援を実施。

※ 第1次支援対象（5月～来年3月）

岩手県久慈市、宮城県塩竈市、福島県郡山市、川内村

第2次支援対象（10月～来年3月）

岩手県山田町、宮城県東松島市、福島県福島市、いわき市、飯舘村

(4)民間との連携による「新しい東北」の情報発信の強化

○ 民間企業の協賛・協力による ビジネス・コンテスト を実施。

<ビジネス部門>

・ 5月～7月 提案募集

・ 9月17日 受賞者決定

・ 10月12日 表彰式（仙台市）

<アイデア部門>

・ 7月～8月 提案募集

・ 10月6日 受賞者決定

・ 10月12日 受賞者紹介（仙台市）

○ 以下の取組等により、全国に向けた情報発信を実施。

① 「世界にも通用する究極のお土産—「新しい東北」の挑戦—（東北の食品のコンテスト）

・ 6月 商品募集

・ 9月14日 最終審査会（東京都）、究極のお土産10品を選定

② 「Creative Summer Camp」（若手クリエイターによる東北の魅力をPRするCMコンテスト）により、

・ 8月～9月 現地撮影（福島県会津若松市、宮城県石巻市、山形県南陽市（赤湯温泉））

・ 9月29日 最終審査会（東京都）、受賞者を決定

2. 平成28年度以降の課題

① 先進的な取組の「横展開」の強化

→自治体版ハンズオン支援事業等により、被災地の自治体に対する先進的な取組の更なる「横展開」を実施。

② 民間等の関係者との連携強化

→「新しい東北」官民連携協議会交流会について、行政のほか、企業やNPO等の民間とも連携して実施。

③ 全国的な情報発信の強化

→震災後5年経過を踏まえ、風化・風評被害対策も念頭に、被災地内外での交流会の開催、民間との連携による全国的な情報発信を強化。